

クラス番号	624	担当教員名	北村育子
テーマ	高齢者を対象とするソーシャルワークの方法について学ぶ		
著書・論文 研究課題等	研究課題: 高齢者介護サービスの提供(認知症ケア、施設や在宅介護事業所における看取りの提供、など)に関すること		

ゼミナール概要

キーワード: 高齢者福祉サービス ソーシャルワーク 資源の活用

ゼミの目的

高齢者を対象としたソーシャルワークの方法や援助技術について、アセスメントを中心に学び、主に高齢者分野のテーマでの卒業研究を支援します。高齢者の援助には、成人のアセスメントに必要な知識とスキルと共に、高齢者に特有の生物学的・文化的・社会的・心理学的要素に対する配慮ができなければなりません。高齢者がソーシャルワーカーのアセスメントを受けるということは、人生の大きな岐路に立っているということを意味しています。アセスメントは、高齢者が自分の置かれた環境においてどのように機能することができているのか、その能力を明らかにします。高齢者は虚弱な人、すべてにおいて何の問題もない人、子どもの名前も覚えていない人、など多様な集団です。そしてその経験と人間関係の個人史は、その人だけの意味と重要性を持っています。このゼミではまず、高齢者の援助者としての基礎的な知識と技術の習得を目指します。

人をケアするという点において、「(社会)環境のなかの人」という視点を維持するのが、ソーシャルワークの独自性です。よって、平均的な高齢者像や、高齢者の共通性、高齢者の行動特性、高齢者の抱えがちな諸課題、などを明らかにするのではなく、「その人」が自分の社会環境において発揮することのできる力、弱点、対処能力、対処方法、などに焦点をあてます。そして、個人援助だけでなく、グループを活用した援助、コミュニティの諸資源を活用する方法、援助者としてのワーカー支援、国の政策への働きかけ、などについても必要に応じて学びます。そしてその過程を通して、卒業研究として取り組むテーマを見つけてください。

授業計画

専門演習Ⅰの前期には、高齢者、とりわけ認知症の利用者とのコミュニケーション技法を学びます。この技法は、高齢者施設で実習を行う際にはもちろんのこと、どのような分野で実践を行うにしても役立つはずですが、高齢者施設で実習することをゼミ募集の要件としているわけではありませんが、担当者の専門性から、卒業論文の執筆にあたっては、高齢者関連のテーマを設定していただいた方が、よりよい支援ができます。ただし、途中で自身の関心がより明確になること等により、高齢以外分野で卒業研究に取り組むことになっても、可能な限り支援します。

担当教員からのメッセージ

ゼミでは、卒論執筆を念頭に、ゼミ生が自分の関心に気づくことができるよう、支援したいと思います。

ゼミのテーマが、ソーシャルワークの方法や技術に焦点をあてたものとなっていますから、授業中もグループダイナミクスに関心を払ってください。互いに協力し合うことで、良いゼミが形成されるよう願っています。

ゼミは、親しい仲間ができる場ですが、卒業論文の執筆は、各自が個別に取り組まざるを得ません。ゼミに出席していればなんとかなるというものではないこと、3年後期に実習に行く場合は、前期の取り組みが非常に重要であることを自覚してください。